



基本理念 相手の立場に立つ

令和5年1月発行

109号

協和中央病院グループ広報誌

# はぐるま



## 目次

● 新年のごあいさつ	2~3	● 事務部通信	5
● 新任医師紹介	4	● 感染症対策再確認	6
● 看護部通信	4	● 恒徳会だより	7
● 医療技術部通信	5	● 外来診療担当医表／編集後記	8

# 新年のごあいさつ



社会医療法人恒貴会  
理事長  
**長山 辰治**

新年おめでとうございます。

本年も、昨年に引き続き、新型コロナウイルスの感染拡大の中での年越しとなりました。オミクロン株の新たな変異株「BQ.1」と「XBB」の出現で、不安要素も見られます。

しかし、新型コロナウイルスに手探り状態であった以前とは状況が異なり、多くのことが判明してまいりました。厳しい冬を乗り越え、生命力にあふれた温かい春が待たれます。

私ども社会医療法人恒貴会は、患者様、ご家族様にも面会制限にご協力いただきながら、法人の総力を挙げて感染拡大予防にまい進してまいりました。患者様の命を守るため、気を緩めることなく、引き続き努めていく所存です。また、この冬においては、新型コロナウイルス感染症(以下新型コロナ)について、昨年を上回る感染拡大が生じる可能性があることに加え、季節性インフルエンザ(以下インフル)も流行し、より多くの発熱患者が同時に生じる可能性があります。そうした事態にも対応できるよう、ロッシュ社製のコバス Liat システムというリアルタイムPCR検査機器を導入しました。検査結果は20分ほどで非常に速くインフルエンザウイルスA/B型の検出も同時に行えます。そのため、インフルと新型コロナの鑑別が難しい発熱症状の検査も可能になりました。そして、外来診療体制や入院治療が必要な患者様への対応の強化等を進めております。

今年も当法人は「相手の立場に立つ」の理念のもと、地域の医療ニーズにしっかりと応えられるように病院運営をいたします。

また、今年の干支は「卯<sup>うさぎ</sup>」です。卯は穏やかで濃厚な性質であることから、「家内安全」。また、その跳躍する姿から「飛躍」、「向上」を象徴するものとして親しまれてきました。ほかに「植物の成長」という意味もあり、新しいことに挑戦するのに最適な年とされています。今年の干支にちなんで、厳しい状況を克服し飛躍、向上できる一年にしたいものです。

皆様今年一年、幸多く、ご健康で過ごされましよう心からお祈り申し上げます。



社会福祉法人恒徳会  
理事長  
**久野 貴俊**

新年にあたりごあいさつを申し上げます。昨年中は皆様方には大変お世話になり感謝いたしております。本年も皆様のご活躍、ご多幸を心よりお祈り申し上げます。

昨年はサッカーワールドカップが開催され、日本は予選でドイツ、スペインという強豪国に勝利し、決勝トーナメントでは惜しくもクロアチアに敗れたものの日本中で健闘をたたえました。

その20年前の2002年といえばワールドカップは日韓共同開催という年でした。もう20年も前なのですね。大変な盛り上がりをよく記憶しています。というのもその年は私の父である久野恒一が亡くなった年でした。

1979年に協和中央病院を開設。当初は現在の本館のごく一部の建物でした。それでも小学生だった私は立派な建物で働く父を誇らしく思いました。私たち家族は病院のすぐそば、現在の新館のすぐ裏に家を見て住みました。すぐ近くに住みながら父は家でゆっくり過ごすということもなく、忙しくよく働いておりました。たまに早く帰宅して私が勉強などしていると父が教えてくれるのですが、とても厳しく正直なところ怖かったのを覚えております。ただ勉強以外ではキャッチボールをしてくれたりとても優しく接してくれていたなと思っております。

そのように過ごした我が家も、現在主がおらず築40年ほどとなり傷みもひどくなっております。こうした状況でこのほど恒貴会で引き受けていただくことになりました。大変ありがたい次第です。

家の整理をする中でさまざまな書類が出てきて本当にいろいろなことがあったものだと思います。病院や恒徳会の各施設を次々と立ち上げたことはもとより、県会議員から参議院議員となるまでよく走り抜けたものだと思います。志半ばで突然この世を去ることとなりましたが、その間いかに多くの方々のお支えがあったのかと改めて思いをいたすところです。

病院の周辺地域も道路が拡幅されたりして、だいぶ様相が変化してまいりました。古い家も大事な記憶ではありますが、これを機に恒貴会、恒徳会のグループが新たな展開を迎えられることを期待しております。

令和5年が皆様にとって素晴らしい年でありますように祈念いたします。



## 休息、運動、そして栄養



協和中央病院  
院長  
黒川 徳一

明けましておめでとうございます。新年を迎えるにあたりごあいさつさせていただきます。

3年以上にもわたるコロナ感染症との共存の中で、皆様、さまざまな日常生活の制約に悩んでこられたと思います。せっかくのお休みがとれども気兼ねなく遠出できなかつたり、また、インフレ物価高で買い物にも躊躇したり。また、世界的にも気候変動や政情不安が多発して大雨や地震、ガソリン高にいらしたり不安を感じたり。無関係に思えた世界のトラブルが思わぬ形で自分たちに跳ね返ってくるように感じます。

さて、日々多忙であっても、体調管理は大切です。人は何か意識して活動していなくても、脳の一部(default mode network)は無意識に活動し続けているそうなんです。休んでいても、脳の一部は働き続けている。何か不思議な話ですが、ではいかにすれば働き過ぎの頭の休息はとれるのでしょうか。その一つの答えは、呼吸を整え、ぼーっと瞑想する(心を整える)ことなのだそうです。一見、無意味に思えることも、実は意味があるのですね。

心身の体調を整えるのに運動する習慣は大切です。同様に、栄養を意識してきちんと摂取することも重要です。体幹支持筋と足腰の筋肉を鍛え、元気で動ける体を維持してゆきましょう。元気で長生き、これにつきます。健康寿命の延長が目標です。

今年は救急外来の一部改修を行い、心機一転、職員一同頑張る仕事してゆきたいと思っております。引き続きまして皆様のご指導、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

## [間:あいだ]を見据えた、地域慢性期医療を目指して



協和南病院  
院長  
小笠原 正彦

不確かな形の紛争や環境問題が続く近年において、2025年にも大阪でSDGs(持続可能な未来)をテーマに国際博覧会が再開されますが、1970年に開催された大阪万博の象徴としての太陽の塔(岡本太郎氏制作)では、生命の過去と、宇宙時代を見据えた未来と、それらをつなぐ[間:あいだ]に位置する現代社会が表現されています。

一方、[間]に関わる書籍として、木村敏先生著作、人と人との[間]では、西洋とは異なる日本風土特有の[あいだ]の精神文化が、生命一般の根拠として自ら(みずから)を[おのずから]と表現した動き等も含めて、日本に根付いていると多面的に示しております。いわゆる、地方都市の日常の地域生活にも、人と人との[間]に合致するものが多々あると思います。

また、virus感染症時代の昨今、福岡伸一先生著作、生物と無生物の[間]では、生命一般の根拠として各部分(局所)の動きが全体としてはバランスがとれている平衡につながる動的平衡状態にあるもの、すなわち各部分(局所)が無生物(機械)的に動いているだけでなく全体として循環や流れとして釣り合いがとれているものが、生命の本質にあると述べています。

全国の入院患者の7割以上が高齢者の時代、当院は地域生活に根付いた慢性期療養型病院ですが、高齢者が有するMultimorbidity慢性多疾患併存の状態にあり、前三者の[間:あいだ]の概念を参考にし、未来に向け地域医療を発展させ、各局所臓器(部分)を診るだけでなく各多臓器間にある循環や流れの釣り合いを見極めることで医療費を的確に熟考し、患者様に最適な療養生活を送っていただくよう当院は努めております。

## 安心できる地域づくりに貢献していきたい



大和クリニック  
院長  
木村 洋輔

ここ数年はコロナによって、いろいろと大変な日々が続いていますね。患者さんやご家族、そして医療や介護に従事する皆さんも、コロナに感染することへの不安もあったと思います。感染によって重い症状に辛い思いをした方もいたでしょうし、軽症で済んでもうつしてしまわないか、偏見の目で見られないかという不安があったかもしれません。少しは日常生活が戻りつつあるとはいえ、通院が必要な患者さんやそのご家族にとっても、早く安心して過ごせる日々が来てほしいものです。

また流行期には医療機関への受診もなかなか思うようにいかなかったり、コロナ以外のことで入院すると面会ができなかったりと、大変な思いをされた方も多かったように感じます。大和クリニックは訪問診療を中心に活動していますが、コロナが流行してからは訪問診療の依頼が一段と増えました。人と人との触れ合いに制限ができてしまった今だからこそ、病気があっても家族との時間を作ってできるだけ自宅で過ごしたいという思いが、より高まっているのだと感じます。その思いに応えられるよう、在宅での医療や介護の連携にも工夫が増えてきました。コロナのため地域のスタッフが対面での連携は減りましたが、

インターネットでのビデオ会議や連絡帳などの整備が進みました。そしてこの地域には、協和中央病院をはじめ、コロナの流行に負けずに責任感や信念をもって業務にあたっている地域のスタッフがたくさんいます。顔を突き合わせて連携がとることが難しいからこそ、お互いの強みを活かしながら、安心できる地域づくりにこれからもクリニックのみんなでご貢献していきたいと思っております。



# 協和中央病院 新任医師紹介

## 脳神経外科



協和中央病院  
診療部(脳神経外科)  
てつか まさゆき  
**手塚 正幸**

本年11月から脳神経外科医として勤務させていただくことになりました手塚と申します。出身は栃木県宇都宮市です。愛知医科大学を卒業し、初期研修から自治医科大学附属病院に勤務し、そのまま脳神経外科学を専攻しました。

自治医科大学で脳神経外科専門医や博士号取得など研鑽を積み、2019年からは栃木県真岡市の芳賀赤十字病院に出向しておりました。

栃木県内での勤務が長く、茨城県の勤務は今回が初めてであり、不慣れでご迷惑をお掛けすることもあると思いますが、どうぞよろしくお願い申し上げます。

専門は脳機能手術です。脳腫瘍、脳卒中だけでなく、てんかんの手術、パーキンソン病や本態性振戦、ジストニアの手術、難治性疼痛の手術を専門としています。そのほかに頭痛、認知症や慢性頭痛、しびれなどさまざまな脳障害にかかわる疾患であれば気軽に私にご相談ください。

また、父は宇都宮市内で歯科医院を、義父は筑西市内で耳鼻咽喉科医院を開院しております。私ごとで恐縮ですが、このたび、義父の医療法人を継承し、筑西市内に2023年に新規脳神経クリニックを新築・開業することとなりました。開院後も協和中央病院や大学病院などの基幹施設と連携をとりながら、今後も筑西市の地域医療に貢献できるよう精いっぱい務めていきますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

## 看護部通信



協和中央病院  
看護部長  
**仁平 洋美**

明けましておめでとうございます。新型コロナウイルス感染症の影響が長引く中、医療従事者は緊張感を緩めることができない毎日を過ごしております。また感染予防対策として、面会禁止や健康チェック等を行っておりますが、皆様方には大変ご協力していただき、ありがとうございます。特に入院されている患者様やそのご家族様、関係者の皆様におかれましては、面会ができないことで、ご心配やご迷惑をおかけしておりますが、ご理解とご協力に心から感謝申し上げます。

令和5年も看護部理念であります「患者様と共に歩み、満足していただける看護の提供に努めます」を目標に看護部一同取り組んでまいります。今年こそは穏やかな年になることを願い今年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

コロナ禍で日々の職務を頑張っている看護部職員の趣味や特技を紹介いたします。  
新たな一面を知ることができると思います。

新館2階病棟  
**Yさん**



休みの日に  
ショートや  
ロングでのツーリングを楽しんでいます。  
ヴィンテージは右左折の際に手信号で  
曲がるのも醍醐味です。



新館2階病棟  
**Aさん**



娘と一緒に  
菓子作りをする  
時間が増えました。定番はチーズケーキ  
とマフィン・コロネ。親子でレパートリーを  
増やすのが楽しみです。

新館3階病棟  
**Oさん**



今年は  
ウサギ年です。  
いつも  
癒されます。



北2階病棟  
**Tさん**

趣味の範囲で  
楽しみながら  
描いています。

## ご存じですか？ 医療ソーシャルワーカー

病気やケガをすると、生活していく上でさまざまな心配事や困り事が生じる場合があります。自宅で生活することへの不安や費用面を心配されたり、また、相談相手が近くにいないなど不安な気持ちで入院生活を送られる方もいらっしゃいます。

私たちソーシャルワーカーは、患者様やご家族様のそのようなお気持ちをお聞きしています。そして、さまざまな専門職スタッフや地域の関係機関と連携しながら、療養生活に伴う不安などについて一緒に考え、解決へのお手伝いをしています。



協和中央病院  
医療福祉支援相談室  
主任 上田 直子

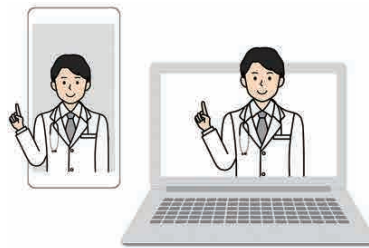
### 例えば…

- 社会福祉制度について知りたい
  - 介護保険について知りたい
  - 医療費や生活費について不安を感じている
  - 退院後自宅で生活したいが、どのように準備したらよいか分からない
  - 入院生活について悩みがある
  - 介護、療養について悩みがある
  - 介護保険施設について知りたい
- など…



現在も、感染対策のため直接面会いただくことが難しい状況が続いております。そのような中で私たちは、パソコンやタブレットなどオンライン機器を使用して、ご家族様にご本人の状態をお伝えしたり、多職種とのカンファレンスなどを行い、退院に向けての相談等を行っております。

患者様が少しでも不安なく療養されお元気に生活していただけるよう、これからも支援させていただきたいと思っております。



場 所 ● 医療福祉支援相談室  
相談時間 ●

8:30～17:15(月・火・木・金)  
8:30～12:30(水・土)

ご相談の際は、受付または病棟へ  
お気軽にお申し出ください

## 事務部通信

# オンライン資格確認の導入



協和中央病院  
医事課  
主任 高松 紀平

厚生労働省が推進しています「オンライン資格確認」を協和中央病院でも導入することになりました。歯科ではすでに運用がスタートし、医科でも3月ごろに運用開始ができるよう準備を進めております。

オンライン資格確認とは患者様が加入している医療保険の情報をマイナンバーカードから確認する方法です。今まで必要であった保険証の番号登録、氏名、生年月日、住所などの確認を簡単に行うことができ、待ち時間の軽減になることが期待できます。また、間違いのリスクが高い保険証や負担割合の切り換えなどもオンライン資格確認ではリアルタイムで情報を得ることができます。そのため患者様への不要な問い合わせも少なくなると考えられます。さらにマイナンバーカードを利用して病院や薬局間で患者様の処方内容を共有することも可能になっていきます。このシステムが広まればネットワークを通じて医療機関同士が連携することにより患者様の情報を速やかに医療に反映することが可能です。心配されるセキュリティ面でも専用の回線を準備するため、情報漏洩対策もできています。

将来的には現行の保険証は原則廃止となります。マイナンバーカードの登録はお住まいの市役所にて受付を行っておりますので、これを機会に患者様にはぜひともマイナンバーカードの登録をお勧めいたします。





# 感染症対策 再確認

協和中央病院 医療安全部  
感染対策室

## 手洗いはいつするの？

Q 感染症のため手洗いが習慣になりましたが、どんな時に手洗いをすればいいのか改めて…



A 手洗いはタイミングが重要！手に付いた、もしくは付いているかもしれないウイルスや細菌を自分の体内に入れないためです。食事の前やトイレの後、帰宅時はもちろん、手が汚れたかも…と思った時や、顔周りを手で触れる前も手洗いをするようにしましょう。“目に見える汚れがある時は流水とせっけんで手を洗い、それ以外は手指消毒”ということもポイントです。



画像出典：政府インターネットテレビ

## 手洗いとアルコール消毒の違いとは？

Q 流水とせっけんによる手洗い、そしてアルコール消毒。それぞれ、どんな効果の違いがあるのでしょうか？



A 手指衛生にはアルコールベースの手指消毒薬を使用した手指消毒と、流水とせっけんによる手洗いの2種類があります。アルコール消毒は新型コロナウイルスを含む多くのウイルス・細菌に効果があります。一方、ノロウイルスなど感染性胃腸炎の原因となるウイルスにはアルコール消毒での対策は不向き、その場合は流水とせっけんによる手洗いを行いましょう。



## アルコール消毒の正しい塗り広げ方

Q アルコールでの手指消毒。手のひらや指になんとなく塗り広げていますが、正しい方法や順序などは…



A 新型コロナウイルスを含む多くのウイルス・細菌に効果があるアルコール手指消毒。今では病院、施設や店舗の入口に置かれたアルコール消毒剤を利用する機会も増えましたが、素早く手にすり込むだけでは不十分。1回量をしっかりと取り、指先→手のひら→手の甲→指の間→親指と手全体に消毒液を塗り広げ、乾燥させることで消毒が完了します。製品により違いはありますが、1回量とは1プッシュ3mlです。こんなに多いのかと思うくらいの量、20～30秒すりこむ量です。10～15秒すり合わせた液、手が乾いた感じであれば量が不十分です。ただアルコール消毒を手にかけるだけで満足していませんか…。

## 不織布マスクじゃなきゃダメ？

Q 外を歩く時など息苦しさを感ずる時がありますが、感染予防のためには不織布マスクを着用するべきでしょうか？



A 不織布マスクと比較した場合、ウレタンマスクでは飛沫吐き出し量の効果は半減、飛沫吸い込み量の効果は1/3程度低下します。しかし屋外ではマスクの着用が不要の場合があります。距離が2m以上とれる、会話をしていないなど。一方、人と近い距離で会話をする時はお互いに不織布マスクを使用するのが望ましいです。服装同様、マスクもTPO(時・場所・場合)を考慮して選ぶ必要があるかもしれません。



マスクに関するQ&Aはこちらから▶



詳しくは最寄りの保健所へおたずねください。また、感染症や食の安全に関する情報は下記HPでご覧いただけます。

### 感染症に関する情報

<https://www.pref.ibaraki.jp/hokenfukushi/eiken/idwr/index.html>

### 食の安全に関する情報

<https://www.pref.ibaraki.jp/hokenfukushi/seiei/eisei/syokuhin.html>

## 冬はノロウイルスにも注意しよう！

Q 毎年冬になると「ノロウイルス感染症」のニュースを多く目にします。感染予防の方法は…



A ノロウイルスによる感染性胃腸炎の主な原因は、ウイルスに汚染された二枚貝などを生、あるいは十分加熱しないで食べた。食品を取り扱う人(家庭で調理を行う人も含まれます)が感染していて、その人を介して、ウイルスで汚染された食品を食べた。また、感染者の排せつ物、嘔吐物からの二次感染です。ノロウイルスはアルコール消毒が効きにくいので、流水とせっけんでしっかり手を洗うことが重要です。感染した場合は3日ほどで回復しますが、その後1週間ほどは便にウイルスが含まれることにも注意しましょう。



## 災害に備えて

### すみれ園

筑西市を含む茨城県南部は、地震の巣があると言われ、過去にM7クラスの地震が発生しています。東日本大震災以降、地震活動が活発になっており、政府の首都直下地震の検討で、M7.3の地震が想定されています。

このように、いつ起きるか分からない災害に備え、すみれ園では毎年10月に震災訓練を実施しています。訓練では巨大地震や巨大台風を想定し、利用者様の避難・誘導はもちろん



ですが、停電時には吸引機が使用できなくなり、利用者様の命にかかわるため、発電機を稼働させる訓練や、ランタンを使用し明かりを確保すること、ナースコールも使用できなくなるため、30分おきに巡回することを確認しています。また、暴風により割れた窓ガラスの飛散を防ぐため、養生テープの貼り方も周知しています（米の字で貼ると効果的）。

実際に震災が発生した際、利用者様を守れるように、今後も訓練に励みたいと思います。



生活支援課長  
飯泉 良次

### 桃香園

## 通所クリスマス会



サービス管理  
課長補佐  
弓削 敏彦

12月12日から17日の6日間、通所ルームにてクリスマス会を行いました。

クリスマス飾りの準備などは、11月上旬から午後の活動時間に行い、利用者様が作りやすいものを考慮して、紙コップのクリスマスツリーや、赤と緑の長靴のちぎり絵を職員と一緒に作成しました。出来上がったものを壁に貼り付け、ロープに掛けて頭上の飾りつけをすると、クリスマスムード色のきらびやかな通所ルームに変わりました。

クリスマス会の出し物では、曜日ごとに職員による合唱や、利用者様同士でクリスマスをイメージしたゲーム等を行いました。

なかでも職員が「ザ・ドリフターズ」に扮しての早口言葉やひげダンスは、利用者様も大笑いして大変盛り上がりしました。

終盤ではお楽しみのおやつが提供され、利用者様より「おいしい!」「もっと食べたい!」と、毎年厨房職員による手作りのおやつはとても好評であり、皆さんとても満足された様子でした。

感染対策に注意しての行事の開催となっておりますが、今後も利用者様に楽しく安全に、安心して通所生活介護をご利用していただけるように心掛けていきたいと思ひます。



## 利用者様に笑顔を

### 恒幸園

「持って帰ったらさっそく食べよう!」

去る11月28日、久しぶりのパン作りに参加した利用者様の声です。この日作ったのは「紫いもあんパン」でした。

董授園のパン工房「とんがり工房」から職業指導主任の市村さんが来園されて、形成のポイントなどを教えていただきます。感染症対策として手袋とマスクを着用した上で、パン生地を伸ばし、具を詰めて形成するところまで利用者様が行います。

市村さんが董授園に持ち帰ってパンを焼き、袋詰めして、完成したパンを再び恒幸園に持ってきてくれます。利用者様は自分で作ったパンをその日のうちに持ち帰ります。

「自分が想像していたよりもデイの利用者様の反応が良く、楽しそうにパン作りをされているのが印象的です」と市村さんは語ります。

コロナ禍により一時休止していたパン作りですが、今後も利用者様が楽しみに思えるような行事として継続していきたいと思ひます。



デイサービスセンター  
生活相談課長補佐  
上野 公一





# 外来診療担当医表 令和5年1月

( ) 専門科目

診療科		月	火	水	木	金	土	
脳外科	午前	1	中原	中原	中原	中原	第1、3 中原	
		2	五味	長	黒川	黒川/第3 自治医大	大城	黒川
		3		手塚				第2、4、5 長
外科	午前	1	高坂	佐藤	佐藤	佐藤	佐藤	佐藤
		2	宮原	宮原	高坂	宮原	高坂	高坂
		3					宮原	
内科	午前	1	玉野	玉野	玉野	高村	海老澤 (漢方外来)	第2、4 長山
		2	正和 (循環器)		木村	飯田 (循環器)	磯田	種ヶ島
		3	福島	磯田	阿部田	福島	加藤(夏) (内分沁内科/糖尿病)	(予約)新保 (循環器内科)
		5	岡田 (内分沁内科/糖尿病)	北川 (循環器)	磯田	阿治部 (消化器)	高村 (リウマチ)	
		7	小林 (呼吸器)		飯島 (呼吸器)			
	午後 (予約のみ)	1	阿治部 (消化器)	北川 (循環器)		小笠原 (神経内科)	加藤(夏) (内分沁内科/糖尿病)	
		2	清水 (循環器内科)					
		3	岡田 (内分沁内科/糖尿病)					
	●内科外来の午後は予約のみとさせていただきますのでご了承ください。							
	専門外来	午後			加藤(土) (漢方専門外来)			
小児科	午前	1	(予約) 中原	長尾	長尾	(新患予約) 中原	(予約) 中原	自治医大交代制
		2		(予約) 中原				第1 (予約) 中原
	午後	1	(予約) 中原	長尾		(予約) 中原		
		2	獨協医大交代制					
整形外科	午前	藤田			藤田	萩原	第1、3、4、5 木村	
●月・木の整形外科は予約と紹介患者様のみ、金・土は大学診療のため時間前に受付終了となります。土(第2)は休診となります。予約外の患者様はお待ちいただきますのでご了承ください。								
痛みの外来	午前				(予約) 佐藤			
皮膚科	午前・午後		高橋 午前のみ			神賀		
泌尿器科	午前		別納	植松	神原			
眼科	午前・午後		高山	高山 午前のみ	松原	高山 午後は予約のみ		
歯科 歯科口腔外科	午前 (土は午前のみ)	1	串田	串田	串田	串田	大谷津	串田
		2	大谷津	大谷津	大谷津	大谷津	土肥	岡田・土肥交代制
		3	岡田	薄井	杉浦	薄井	薄井	薄井
		5			薄井	第1、3 仙名		
	午後	1	串田	串田	串田	串田	大谷津	
		2	大谷津	大谷津	杉浦	大谷津	土肥	
		3	岡田	薄井	薄井	薄井	薄井	
		5	第2、4 佐瀬					
専門外来	午前	1	第3 野口			第1、3 森		

※受付時間《午前の部》

月・火・木・金 (7:30~11:30) 診療開始 9:00  
 水・土 (7:30~11:00) 診療開始 9:00  
 歯科・歯科口腔外科 (8:30~11:00) 診療開始 9:00

※水・土の午後 及び 日・祭日は、休診です。

※診察の際は、保険証をご提出ください。

《午後の部》

皮膚科・眼科 (13:00~15:30) 診療開始 14:00  
 ＊眼科(木) (13:00~15:00) 診療開始 13:30  
 内科 (13:00~16:30) 診療開始 14:00  
 小児科 (14:00~16:30) 診療開始 14:30

＊小児科(木)・中原医師予約 (13:00~16:30) 診療開始 14:00

歯科・歯科口腔外科 (13:30~16:00) 診療開始 14:00 水の午後も診療します。

※受付時間外及び休診日に救急診療を希望される方は、あらかじめ電話でお問い合わせください。

## 安心が地域に根ざす 社会医療法人恒貴会・社会福祉法人恒徳会

### 協和中央病院

・脳神経外科・外科・消化器科・内科・漢方内科  
 ・呼吸器科・ペインクリニック内科・整形外科  
 ・小児科・放射線科・皮膚科・泌尿器科  
 ・リハビリテーション科・麻酔科・眼科  
 ・歯科・歯科口腔外科

茨城県筑西市門井1676番地1  
 電話0296-57-6131(代)  
 E-mail: kyowa@kokikai.com

### 療養病床

### 協和南病院

茨城県筑西市門井1674番地1  
 電話0296-57-5133(代)  
 E-mail: minami@kokikai.com

### 介護老人保健施設

### 協和ヘルシーセンター

茨城県筑西市門井1669番地2  
 電話0296-57-6030(代)  
 E-mail: healthy@kokikai.com

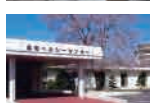
### 大和クリニック

茨城県筑西市大玉2513番地12  
 電話0296-58-7788(代)  
 E-mail: yamato@kokikai.com

### 訪問看護ステーション

### 愛美園

茨城県筑西市大玉2513番地12  
 電話0296-20-6780(代)  
 E-mail: aibien@kokikai.com



### 障害者支援施設

### すみれ園

茨城県筑西市門井1677番地21  
 電話0296-57-5125(代)  
 E-mail: sumireen@kohtokukai.jp

### 障害者支援施設

### 堇授園

茨城県筑西市門井1687番地1  
 電話0296-57-3400(代)  
 E-mail: kinjyuen@kohtokukai.jp

### 障害者支援施設

### 桃香園

茨城県筑西市大玉2513番地10  
 電話0296-58-7870(代)  
 E-mail: tohkaen@kohtokukai.jp

### 新型特別養護老人ホーム

### 恒幸園

茨城県筑西市向川澄98番地1  
 電話0296-57-7268(代)  
 E-mail: koukouen@kohtokukai.jp



### 編集後記

明けましておめでとうございます。三寒四温の候、皆様におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。今年も新型コロナウイルスの話題から新年をお迎えのことと思います。

病院でも大変ではありますが、感染対策に慣れてしまわないよう初めに戻り手指消毒など心掛け診療・検査を行っております。患者様・ご家族様におかれましてはご迷惑をお掛けすることがございますが、ご理解のほどよろしくお願ひいたします。

最後になりますが、『はぐるま』も今回で109号となります。発行にあたりご協力いただいた職員の皆様、ありがとうございました。(野村)

※写真等の個人情報は、ご本人の同意を得て、掲載させていただいております。

●発行責任者／長山辰治

●編集委員／相澤明美 飯泉茂徳 杉田恵美子

野村正浩 高松紀平／安達弘毅 廣瀬俊樹